

新春
対談

未来を拓く

～誰もが輝く社会を目指して～



株式会社リクルート
エグゼクティブエージェント

米原市長

森本 千賀子 さん

平尾 道雄

滋賀県高島市出身。

株式会社リクルートエグゼクティブエージェントにて、大手からベンチャーまで幅広い企業に対する人材戦略コンサルティング、採用支援サポート全般を手掛けるなど人材コーディネーターに携わる。

プライベートでは家族との時間を大切にする「妻」「母」の顔も持ち、「ビジネスパーソン」としての充実も含め、「トライアングルハッピー」を目指す。現在、13歳と7歳の2男の母。

平尾

あけましておめでとうござい
ます。今日は森本千賀子さんをお迎
えし、女性の活躍、男女共同参画
について語りたいと思います。

森本

米原市民のみなさん、あけまして
おめでとうございませう。今日はよ
ろしくお願ひします。

平尾

森本さん、米原市にどんな印象を
お持ちですか。

森本

今東京に住んでいます。帰省時
や出張時に新幹線で通るまちと
いうことで非常になじみがあり
ます。最近では、滋賀県の石田三
成のCMが東京でも話題となっ
ていて、戦国武将ゆかりのまちと
いう印象もありますね。

男女共同参画の

現状と課題

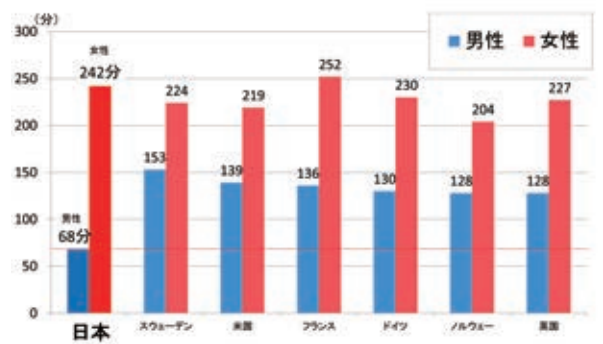
平尾

1980年(昭和55年)以降、共働
き世帯は年々増加しています。

米原市の共働き世帯は約6割を
占めており、全国よりも高い水準
で、県内でも3番目となっています。
また、米原市の男女共同参画
意識調査でも、「男性は仕事、女性
は家庭」という性別役割分担意識
は約1割程度と低下し、社会の中
での意識は変化してきています。
しかし、家庭での伝統的な役割分
担は固定されています。

共働き世帯では女性が圧倒的に

日本と先進諸外国の男女別家事関連時間の比較



家事を担っているというのが日
本の特徴です。(日本と先進諸外
国の男女別家事関連時間の比較
：右グラフ)

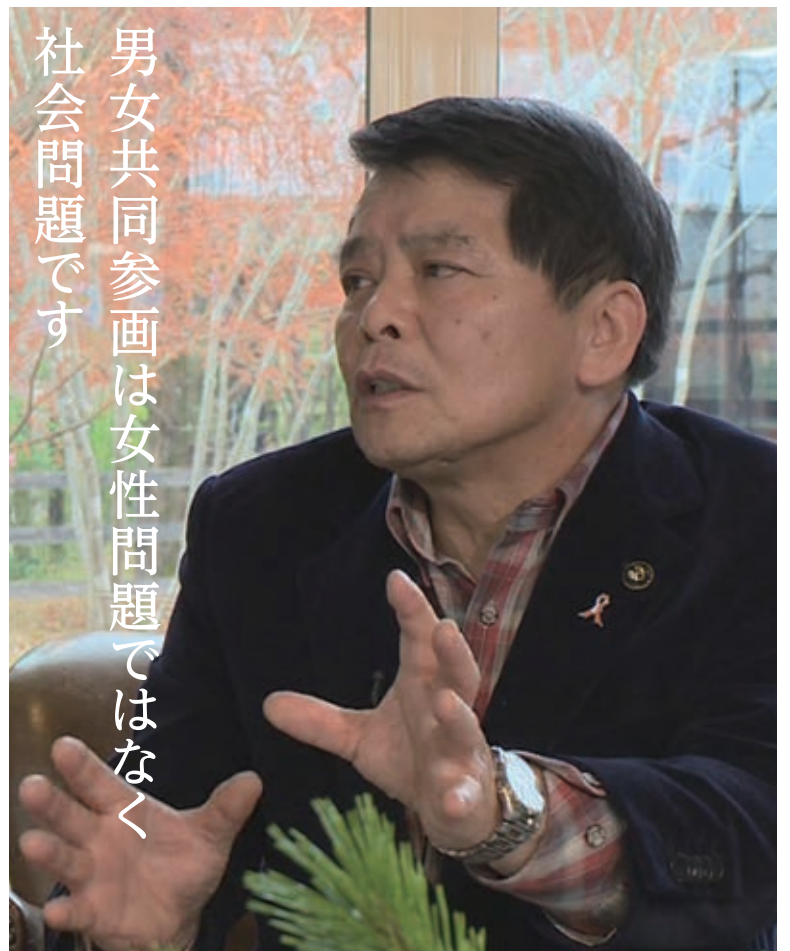
森本

私も共働きですが、夫が出張族で
物理的に家事に時間を割くことが
できません。長男の時はオムツも
替えたことがない典型的な家事・
育児をしない男性だと思えます。
ただ最近、職場でも、20代の後輩や
部下を見ると、少しずつ様相
が変わってきていると感じます。

平尾

夫の家事・育児時間が長いほど、
妻は出産後も仕事を継続してい
る割合が高く、また、2人目以降
の出産割合も高いという調査結
果があります。男性にとっても、

男女共同参画は女性問題ではなく 社会問題です



仕事に多くの時間を費やし、家庭
で過ごす時間を思うようにとれ
ない生活は満足とは言えません。
男性の意識改革、長時間労働や従
来の固定観念など社会全体とし
ての考え方を大きく変えていく
必要がありますね。

森本

今、企業も女性活躍推進を経営戦
略の要として取り組んでいます。
乗り遅れた企業は成長が難しい
と感じています。女性自身が変わ
ることも必要ですが、そのために
も周りのインフラ整備や、パート

平尾

ナーの協力意識が大切だと思
います。
そうですね。男女共同参画は女性
だけの問題ではなく、社会全体の
問題だと思います。

市のサポート

平尾

女性の社会進出を支援するため
に、米原市が行っている施策を少
しご紹介いたします。

中学校卒業までの子ども通院、
入院の医療費を無料化。第2子以



女性も自ら意識して 一歩出ることが大事

森本

降の保育所、幼稚園、認定こども園の保育料の軽減。子どもが病気になった時、保育を保護者に代わって一時的に行う事を目的とした病児・病後児保育室の開設などがあります。

市役所としてはワークライフバランスの推進の一環として、時差出勤勤務制度を導入し、男性職員の育児参加の推進を目的として、育児休暇を取得するように私からも勧めています。

子育て移住

平尾

業では育児休暇があっても短期間だったり、男性が取得していても人事の部署だったり、実態として伴っていない所が多いです。行政が率先して着手されると民間企業にも良い刺激になると思います。

最近子育て世代の女性の間で、自然環境に恵まれている地方に移住して子育てをする「子育て移住」を希望される事例が多いですね。

森本

平尾

私も子育てをしていますが大都市圏ですと、危なくて子どもたちだけでは外で遊ばせられないんです。むしろ、そうしている親がいると注意されます。なかなか遊ぶ場所がない子どもを見ると本当に窮屈な思いをしていますかわいそうだと感じます。そういう意味でも安心した地域社会がある田舎は魅力的ですね。

費用面でも都会に比べて非常に低コストですし、都会では警戒の対象になる大人への印象も変わります。子育てするなら、米原市がおすすです。

女性が活躍し 誰もがいきいきと 輝ける社会のために

平尾

女性の持つきめ細かさ、優しさを行政サービスに備えなければいけない時代になっています。昨年、トップセールスで台湾に行った際に、観光当局の方々、局長や部長も含め女性が非常に多かったんです。女性が多い理由を聞くと「観光はおもてなしであり、女性ならではの視点は大切ですよ」と言われていました。女性が一歩前に出ると社会や企業のためにプラスになることがたくさんあります。

今、約7割の家庭で購買の意思決

平尾

森本

定権は女性が握っていると言われてます。商品開発にしてもサービスを提供する側にしても、女性の感性等を生かさないと思われられない世の中だと思います。

女性が一歩前に出るためには、女性自身の意識改革やチャンスを作る事が必要ですね。

私自身、マネジメント業務に就いたのが20代後半ですがその時期にその職務に就いて良かったと思っています。男性の家事・育児参加が諸外国と比べて低い日本では、女性は出産すると時間も労力も制約されてしまいます。出産前に、キャリアを積む事で、何が大変なことなのかある程度予測できますし、何より大変という以上にやりがいがあることもわかりますので、壁があっても、乗り越えようという気持ちになれます。出産等で制約が生まれる前に、前倒しでチャレンジをしていただきたいです。

女性がライフコースを考える上で結婚は大きなポイントだと思えますが、結婚して子どもを持つことを理想とする未婚女性は約9割、働く選択をする女性も約7割という調査結果があります。自分の望むライフコースの実現が容易であるという安心感が

あれば、結婚して子どもを持つ、あるいは働いていくという選択をしやすいのではないだろうか。

森本

先程申し上げたとおり、我が家も夫の家事・育児への協力があまり期待できないです。しかし、今は行政や民間企業がいろんなサービスを展開しているので、女性が両立できる環境がようやく整い始めたと感じています。長男を産んだのが13年前、次男が7年前ですが、その6年だけでも本当に大きな差があると実感しています。

平尾

若い女性の中には「結婚をしても女性は損だ」と言う人がいます。しかし時代は変わりつつあるし、結婚は素晴らしいものです。例えば子どもに恵まれること、経済的な問題や老後のことなど、男女が互いに支え合う人生も必要だと思えます。

最後に、森本さんから市民のみなさんに向けてメッセージをお願いします。

森本

組織のトップが、女性活躍推進に対して本気で進めていくという気概が大切だと思います。そういう意味で米原市は市長をはじめ、行政が応援するという強い志をお持ちですので、必ず女性活躍社会を実現していくと思います。これだけ多くのサポートがあるの

で、ぜひ積極的にチャレンジしていただきたいと思えます。

未来を担う子どもたち、私たちが大人ができることは何か、私はいつも考えています。子どもたち親として、私が大事にしていることがあります。それは、大人はキラキラしているものだから、仕事はやりがいがあるって充実したものだという、背中を見せることです。ぜひ米原市のみなさん、そういう大人の背中を子どもたちに見せてあげてほしいと思えます。

平尾

今日は大変有意義な時間を過ごさせていただきました。お聞かせいただいた内容を、行政としても大きなステップにしていきたいと思えます。

森本・平尾 本日はありがとうございました。

対談の様子は伊吹山テレビ・米原市役所YouTubeチャンネルでも！



放送期間 1月4日(水)~7日(土)

米原市役所
YouTube
チャンネル

公開日 1月4日(水)~

右のQRコードにアクセス



会場提供：English Garden ローザンベリー多和田